

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

家庭科 科目 家庭基礎

教科：家庭科

科目：家庭基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 7組

教科担当者：

使用教科書：(東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造 )

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を見つけ解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の構築に向けて人々と協働し、地域社会に参画することの大切さを学ぶとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むのに必要な基礎的・基本的な理論をできるだけ体験的に理解し、関係する技能を身に付けることを目指す。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見つけ、その解決策を自ら考え、他者と情報を共有し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど課題を解決する力を養う。	よりよい社会の構築のために自分や家庭、地域社会にも目を向けて、日常生活の中から自ら課題を見つけ、その解決に主体的に取り組む姿勢を養うことを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 第1章 生涯を見通す 【知識及び技能】自立した生活を営むために生涯発達の見点からライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、ここからの自分の人生の目標を描く。 【学びに向かう力、人間性等】デジタルツールも利用しながら他者理解を深め学び合う。	指導事項： 1. 人生を展望する 2. 目標を持って生きる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 作成プリントの利用	【知識・技能】自立した生活を営むために生涯発達の見点からライフステージの特徴と課題を理解している。 【思考・判断・表現】今までの自分を客観的に振り返りこれからの自分の未来を想像し表現することができる。他者の考えから学んだことを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など。	○	○	○	6
	B 第2章 人生をつくる 【知識及び技能】生涯を見通し自分のライフスタイルを考える事ができるように、様々な生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】グループでの発表活動を通して、他者の意見を尊重しつつ自分の考えをまとめる。	指導事項： 1. 人生をつくる 2. 家族・家庭を見つめる 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 作成プリントの利用	【知識・技能】ライフスタイルの多様性や生き方を知っている。社会制度としての家族や家族と法律を理解している。 【思考・判断・表現】誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、自分の意見を発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	8
	C 第3章 子どもと共に育つ 【知識及び技能】子どもの発達を知る。子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】子どもや子育てに対する理解を深めるために妊婦体験などを通して実践的に学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】保育実習を通して命の大切さを知り、社会の一員として次世代を育む責任について考える。	指導事項： 1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもと関わる 4. 子どもとの触れあいから学ぶ 5. これからの保育環境 教材： ・デジタル教材 ・動画 ・Teamsの活用 ・学習ノートの利用 ・デジタル学習ツールの利用 作成プリントの利用	【知識・技能】子どもの発達に応じて適切に関わるため、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。子どもの生活習慣や衣食住について理解している。 【思考・判断・表現】子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、保育園実習、妊婦体験実習等を踏まえて意見を発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】作業・発表の様子、他者との協同作業、レポート、ワークシート、学習ノートの内容など	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

